福島医療生協の機関紙は地域の組合員、職員の手によって配られています。




# ふくしま医療生協

発行所 福島医療生協

2014年7・8月号 第357号
発行責任者　渡辺幸夫
http://watari-hp.jp/



| | | | |
|---|---|---|---|
| 福島医療生活協同組合 | TEL 024－522－1236 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町66番地 |
| 医療生協わたり病院 | TEL 024－521－2056 | 〒960-8141 | 福島市渡利字中江町34番地 |
| 生協いいの診療所 | TEL 024－562－4120 | 〒960-1301 | 福島市飯野町字後川27-2 |
| 医療生協わたり病院附属ふれあいクリニックさくらみず | TEL 024－559－2664 | 〒960-0241 | 福島市笹谷字塩谷地20-1 |


## 福島医療生協は 訪問リハビリに力を入れています



**高齢化、孤立化が進むなかで〝安心して住み続けられる〟地域の実現のため、医療・介護・福祉の充実が求められています。そのひとつが「訪問リハビリ」です。わたしたちは、医療生協・民医連の特徴を活かした「地域包括ケア」づくりに取り組みます。**

訪問看護やまなみステーション　**佐藤栄作**

訪問リハビリとは、自宅で行う、リハビリ専門家によるリハビリサービスの総称です。ふくしま医療生協には地域別にやまなみ、さくらみず、サテライトほほえみという三つの訪問看護ステーションがあり、どのステーションも訪問リハビリと訪問看護どちらもご利用できます。

対象は、自宅での不安相談から、退院後のリハビリ、認知症リハビリ、風邪や肺炎後のリハビリ、手すりの位置や福祉用具選定などなど様々なニーズに対応しています。




やまなみステーションでは毎日昼にいいの診療所とのカンファランスを行い、常に情報交換を行っています。カンファランスの場では、利用者さんがどのようにリハビリを進めていきたいかといった希望や往診の状況などから今後のリハビリの方向性を考えていきます。また、毎月他の事業所やNPO法人とも情報交換を行うことで地域との連携を強め、飯野・川俣・東和・立子山・蓬莱地域の方のリハビリを支えています。

退院直後は環境に慣れず転倒増加や不安など感じ易いもの。病院でのリハビリの仕上げにご利用ください。我々が目指すところは…。その方らしい生活の実現です。主役は本人！　朝布団から起きるのが楽しみになる！そんな生活を訪問リハビリスタッフと一緒に目指していきましょう。私たちがお手伝いします。

### 訪問介護さくらみずステーション サテライトほほえみ

昨年十一月にオープンした、サービス付高齢者向け住宅「ひだまり」の一階に事務所があります。リハスタッフは、さくらみずステーション（笹谷地域）と兼務しており、渡利地域を中心に市内を訪問しています。看護師と一緒に仕事をしており、いつでも利用者様について相談ができる環境にあり、何か変化があれば看護師に介入してもらう、看護師のみの利用でも相談があればリハが介入するなど、連携の強さが特徴です。



### やまなみステーションの訪問リハビリ利用者さんのエピソード

脊髄損傷で車椅子生活を送っていたAさん。車に車椅子を積んでの外出は諦めていました。車椅子をより軽量なものへ変更し、楽な持ち上げ方をリハビリスタッフと練習しました。

今では車椅子を車に積み込んで外出されており、次なる目標である歩行に挑戦中です。

家の中で転ぶことが増えたBさん。歩くための福祉用具を一緒に選んだり、転びやすかった場所での動き方を練習したりしたことで転ぶことが少なくなりました。

杖以外の福祉用具を介護者に伝えることも大事だと気付きました。

Cさんは肺の病気のために、どのように動けば辛くないのか分からない状態でした。リハビリのスタッフと一緒に酸素の値を測りながら運動することや、一人でできる運動を一緒に作ったことで、一人での外出も楽しんで行えるようになりました。

骨折し重いものが持てなくなったDさん。痛みが酷くなることへの恐怖心からやりたいことに思うように挑戦できずにいました。そこで負担になり過ぎない運動や体を休めなくてはいけないサインの確認をリハビリスタッフと行いました。今では庭の手入れや家の仕事はもちろん、大好きなお孫さんを膝に抱きあげることもできるようになりました。

病気が分かってから「今の自分を人に見られたくない。」という思いを抱えていたEさん。どう頑張ったらいいのか分からなかったことや困っていることを具体的に確認しながらひとつずつ解決方法を相談していきました。徐々に生活の中で楽にできることが増えてきたことで気持も前向きになり、今では友人との外出も楽しまれています。

## 〝医療・介護総合法案〟とは

やまなみ介護支援事業所　**熊田吉弘**

私はケアマネジャーをしています。ますます進む高齢化社会に向けて医療生協らしい「地域包括ケアシステム」をどうつくっていこうかと考えてきました。「地域包括ケアシステム」とは、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される」システムのことです。

しかし、総合法案は、この趣旨に反する様々な問題を含んでいます。例えば①医療費抑制のために徹底した急性期病床削減で、地域医療の大きな役割を果たしてきた中小病院が救急医療を担えなくなります。②厚労省が掲げる「地域包括ケアシステム」は少ない医療・介護給付と「自助と互助」の組合せでカバーしようとするものです。介護施設も要介護三以上の限られた人しか入れず、介護軽度者は介護保険制度の枠外にされてしまいます。

私たちが望むのは、一人ひとりの心身・生活の状態に合わせて、入院でも在宅でも安心できる地域づくりの実現です。

第48回通常総代会

# 医師の養成と確保 組合員・出資金ふやし、事業所利用の前進で 長期計画の具体化にふみだそう

六月二十二日(日)、第四十八回通常総代会が実出席百七十五名、委任四十三名、書面議決九名の二百二十七名によりパルセいいざかで行われました。

## 総代会決議

1. 医師の育成と確保に生協全体の力を結集し、いのちの章典に沿った医療介護事業を前進させましょう。
2. 安心して暮らせるまちづくりを進めるために、千八百人の組合員をふやし・機関紙を届ける体制を強めましょう。
3. 第六次長期計画の具体的な内容づくりを推進するとともに、計画成功の基礎となる一億円の出資金と組合員の事業利用を増やしましょう。
4. 健康診断の受診・健康チャレンジへの参加・マイカルテの活用を広げ、空間線量・食品の放射能測定に取り組み、放射線に負けない健康づくりを進めましょう。
5. 班会やサークル・お茶会など組合員が集う場を増やすとともに、幅広い組合員や地域の人々が医療生協の活動にふれる機会を増やしましょう。
6. 地域の隅々に目が届く活動づくりのために、担い手をふやし支部の強化と分割を進めましょう。
7. 平和な世界と安心して暮らせる社会をめざして、原発と核兵器の廃止を求めるとともに、戦争のできる国づくりTPPへの参加に反対し、社会保障を充実させる運動を進めましょう。



## 理事長を退任するにあたって



名誉理事長
平　範男

さる六月二十二日に開催された福島医療生協第四十八回総代会において理事長を退任させていただくことになりました。理事長としては六期十二年間でしたが、一九六九年六月の福島医療生協設立時初めて常務理事として参加(途中郡山医療生協の設立・運営に十七年)から二十九年間一緒に活動させて頂きました。これまで組合員の皆様や役職員の方々に支えられて役割の一端を果たすことが出来ましたこと心からお礼申し上げます。

この間いろいろな困難に遭遇しましたが、今思い出されることは困難に真正面から立ち向かったときの組合員と役職員の団結した協同の力であり、全国の仲間の支援を受けながらも人頼みにはしないで自ら困難を切り開いていく意志の堅持と言うことです。同時に課題・方針が地域と組合員の本当の声を反映したものであったかどうかも問われたことでした。

私たちを取り巻く状況はさらに厳しく、医療・介護や平和を巡って国の今後を画する年になると考えられますがそれを許さない国民の声は多数派です。一緒に頑張り貫きましょう。

そして私たち自身の福島医療生協第六次計画の現状はその前提となる課題を前進させ生協の活動にふれる機会を増やしましょう。

## 理事長就任にあたって



理事長
斎藤 直哉

十二年前(県立学校の退職一年前)元理事長の佐藤正氏から理事に誘われて以来組合員活動に関わり、副理事長という役付まで担っていましたが、もとより、「医療・福祉」ということではまったくの素人です。

この度諸般の事情から、経験豊富で諸力量に満ちた平範男氏に代わり理事長を引き受けることになり、大変重いものを感じています。

折しも、安倍政権は異常なまでに憲法の真髄ともいえる九条や二十五条を否定するような諸政策を強行しています。また原発事故から三年余経った今も多くの人たちが仮設住宅に居住しているなど、当生協の役割に対する期待は小さくありません。

さらに二〇一一年にスタートした当生協の第六次長期計画は、原発事故を乗り越えての後半三年となり、病院の増改築など佳境の時期を迎えています。

全理事・監事の皆さんとの協力のもと、何よりも組合員のみなさん、職員のみなさんと力をあわせ、総代会で掲げた目標、方針を実現すべく精いっぱい力を尽くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

史に確信を持ち、全国の仲間と共にその事業を成功裡に進められることを心から祈念いたします。

私も組合員として頑張ります。

## 第48回通常総代会　支部及び班表彰

**支部表彰**

○優良賞(13支部)

年間10回以上運営委員会を開催し、全国4課題のいずれか2つ以上を達成している支部(①組合員増やし年度目標、②出資金増やし年度目標、③5人以上または年度当初の3分の1以上の担い手ふやし、④3班以上の新班結成)

渡利支部、南向台支部、中央支部、平野余目支部、大笹生笹谷支部、清水北支部、あづま支部、鳥川平田支部、大森永井川支部、杉妻支部、川俣支部、保原支部、川西支部

○奨励賞(1支部)

特徴的な企画・催し物などで支部活動を活性化させ、生協活動の発展に貢献した支部

地域のヘルパーステーション閉鎖を受け、諸組織と連携してホームヘルプ事業を行うNPO法人の立ち上げに積極的に参加し、安心して暮らせるまちづくりの推進に役割を果たした。

飯野支部

**班表彰**

○優良賞(20班)

年5回以上班会を開催し、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動も努力している班、または1年10回以上班会開催を2年以上継続している班

渡利支部:遊友班、きりん班、南向台支部:あじさい班、さつき班、もちずり支部:ひまわり班、蓬莱支部:たけのこ班、松川支部:浅川班、平野余目支部:ともしび班、キャッツA班、ほほえみ班、大笹生笹谷支部:横堀班、清水北支部:夕もみじ班、クローバー班、あづま支部:ひめさゆり班、鳥川平田支部:戸ノ内班、さざんか班、川俣支部:古組班、保原支部:久保班、柏班、川西支部:森山班

## 第四十八回総代会および第一回理事会において役員の交代がありました。

**退任**

理事長　平 範男
副理事長　西元 幸子
理事　北条 徹
理事　佐藤 正子

**就任**

理事長　斎藤 直哉
常務理事　庄司 三法
理事　上川 芳枝
理事　飯盛 マサ子
理事　佐々木 幹雄
理事　渡辺 芳子

# 福島医療生協 健康チャレンジ2014

## 今年は、生活活動量を高め、健康増進と生活不活発の予防をしませんか！

30日間歩数計をつけて、一日の歩数を記録します。

東北の温泉地へ、みんなで湯めぐりの旅に出かけましょう。健脚な方はウォーキング。

体力に自信がない方は、掃除や買物などで歩数を増やします。無理なくマイペースで進めましょう!

詳細は後日発行予定のチラシをご覧ください。






色はピンク、ホワイト、ブラックの三色です

歩数計の販売もおこなっております。

ご希望の方はわたり病院内売店「おあしす」、または福島医療生協組織部までお申込みください。

## 職員学習会が行われました

五月十七日、二十四日の二日に分けて、第六次長期計画方針に関する職員の学習会が行われました。学習会の中では方針案の報告の他、グループワークも行われ、それぞれのグループで長期計画や職務の改善、自分たちの目標に関して積極的な討論が行われました。




## 食品放射能測定（2014年5月～6月）

| 種類 | 採取場所 | 分類 | セシウム137 | セシウム134 | 検出下限値(Cs-137/Cs-134) | セシウム合計 | カリウム40 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アスパラ | 福島市渡利 | 2 | ND | ND | 15.4/12.8 | ND | 169 |
| 水(用水路) | 飯坂町平野 | 4 | ND | ND | 3.93/3.30 | ND | ND |
| たけのこ(茹) | 郡山市 | 3 | ND | ND | 14.6/12.1 | ND | ND |
| たけのこ(茹) | 福島市松川 | 2 | 31.8 | ND | 15.8/13.1 | 31.8 | ND |
| たけのこ(茹) | 福島市渡利 | 3 | 79.0 | 37.7 | 12.2/10.2 | 117.0 | 162 |
| たけのこ(茹) | 川俣町 | 3 | 72.7 | 38.1 | 15.1/12.5 | 111.0 | ND |
| にら | 福島市渡利 | 2 | ND | ND | 20.1/16.8 | ND | ND |
| ふきのとう | 北塩原村 | 3 | ND | ND | 22.0/18.4 | ND | 288 |
| べにかなめ | 福島市渡利 | 2 | 80.8 | 33.5 | 17.4/14.5 | 114.0 | 208 |
| まさきの新芽 | 福島市渡利 | 2 | 26.1 | ND | 19.7/16.4 | 26.1 | ND |
| わらび(茹) | 小野町 | 3 | ND | ND | 14.5/12.1 | ND | ND |

分類(1:市場流通品　2:自家生産品　3:野生採取品　4:水、土)
＊測定器は全てAT1320(Naiシンチレーション検出器)を使用
＊検出下限値は諸条件により異なります。

看護の現場から No.11

## 「連携の力」をみがいて在宅生活を支援する

やまなみ介護支援事業所　所長　加藤仁美

介護保険制度開始から十三年が経ち、これまでに本当に多くの方との出会いがありました。虐待、独居認知症等の困難事例、また穏やかに自分らしい最期を迎えた方も多くいらっしゃいました。しかし今、在宅生活を支えてくれるヘルパーさんが確保できないという危機的状況を迎え社会問題となっています。私達は今後、介護保険サービス利用のみに頼らず〝いかに家族の介護力を向上し生活しやすい環境を築き上げていくか〟という課題に真剣に取り組む必要があります。ケアマネジャーは要介護状態になった方々の人生の最期に関わる仕事です。「最期をどう迎えたいのか」診療所をはじめ在宅スタッフは勿論、病院とも十分に連携を図り語り合いながら、患者さん一人一人の心に寄り添えるよう努力していきます。




社会保障シリーズ・憲法　第4回

## 憲法9条の解釈と改憲の問題について



あぶくま法律事務所
弁護士　深谷　拓

安倍首相は、憲法九条の解釈を変更して**他国を守るために武力を使う**集団的自衛権を使えるようにする閣議決定を行おうとしています。

つまり、**憲法を改正する手続をとらずに**、安倍首相によって、日本が攻められていなくても、日本と深い関係にある国を守るため、**自衛隊が戦争に参加することができるよう**にされようとしているのです。

与党内では集団的自衛権の行使を限定する方向での協議が進められていますが、**安倍首相は、集団的自衛権を行使するか否かは内閣が決めることと明言**しています。何より、このような戦争放棄を定めた憲法九条に反する解釈を平然と展開する政府ですから、仮に指針等で限定的に定めたとしても何の意味もなさないでしょう。

今、憲法そのものが無視され、国の根本が変えられようとしています。過去の歴史を繰り返さないため、**主権者である私たち一人一人が声を挙げることが強く求められている**と思います。ともに頑張りましょう。

第7回

## 私は訴えたい

わたり病院　南二階病棟　森　葉子

五月二十四日福島医療生協協九条の会平和バスツアーに職員、組合員三十四名が参加しました。今年は茨城県にある航空自衛隊百里基地見学と、「自衛隊は憲法違反」と反戦平和を貫いている基地反対運動のお話を聞きました。

百里基地の真ん中に、反戦地主が守った土地が平和公園として整備されています。


▲平和公園にてガイドから説明を受ける参加者

公園に設置された矢倉にのぼり、滑走路へつづく誘導路が「く」の字になっているのを実際に見ることができ※、貴重な体験になりました。基地に反対し、土地を売らずにたたかった農民はとても大変な思いをしただろうと思います。

自衛隊や集団的自衛権のことなど日常のなかではほとんど意識して考えたことがありませんでした。しかし今回、平和のためにたたかっている方々がいることを知り、平和の大切さについてあらためて考えることができました。

※地主が土地を売らなかったため本来直線である誘導路が「く」の字に曲がっている。

放射線による健康影響の不安軽減のため、内部被ばく検査を受けましょう。
医療生協わたり病院ではホールボディカウンタによる内部被ばく検査を行っております【お問い合わせ：医療生協わたり病院健診センター　TEL.024-522-3446】

## 夏休み親子リフレッシュ企画のご案内

◆第1弾　新潟県長岡市
とき：7月26日(土)～28日(月)(2泊3日)
定員：8名程度

◆第2弾　静岡県静岡市
とき：8月5日(火)～8日(金)
定員：20名程度

・参加費：各企画、大人2,000円、子ども1,000円
・対象：福島医療生協の組合員とその家族
（組合員でない方はご加入ください）

※定員を超えた場合は抽選となります。

申込み・お問合せ
福島医療生協 組織部 TEL.024-522-1236


今年も販売しています

**島原手延べそうめん**

360年の伝統をもつそうめんです。きれいに包装されております。贈答用にも最適です。

内容量50g×36束
通常価格 4,200円 → 組合員特別価格 2,900円

お申込み：福島医療生協 組織部 TEL024-522-1236


## 原水爆禁止2014年世界大会in広島(8/4～6)

唯一の被爆国として「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに核兵器の廃絶を求める世界大会に、今年も福島医療生協から組合員1名、職員2名を派遣します。

**派遣募金にご協力ください**

## わたしの健康、あなたの健康

### みんなの笑顔が自分の幸せ

平野余目支部　鯖東班　紺野哲雄さん（八十三歳）

写真は紺野哲雄さんが十数年前に平野余目支部の支部長を務めていたときに作成した地図です。毎日のように十件以上の訪問を行い、組合員加入の呼びかけや機関紙配りを行っていたそうです。そんなエピソードから、哲雄さんの健康のルーツを窺うことができました。

伯父の影響で医療生協と出会った哲雄さんは、母が痴呆になり苦労した経験もあって〝安心して暮らせるまちをつくりたい〟と医療生協やわたり福祉会の活動に励みました。その精力的な活躍ぶりは、いまも地域の組合員や職員の語り草です。ご自身も何度か病気を患い、その度に生活習慣を見直し、酒・タバコ・肥満などを克服し、いまに至ります。

二十代の頃より地区の農業委員や青年団長を務めていた哲雄さん。〝住みよいまちづくり〟への思いは今も変わらず、現在も医療生協平野余目支部の運営委員と機関紙の手配りをしています。役職や仕事を引き受けては、出歩き、話し、とことんやる。八十を越えても尚、健在でお元気な姿に、健康であるために多くの学ぶべきことがありました。

（取材・文／組織部　三浦）



地図を広げる紺野哲雄さん



平野の地図だけでも広げると縦横3mに及びます。
加入してもらった組合員宅に印している赤マークは100軒以上！

## 主催：福島市放射線健康管理室
## 放射線と市民の健康講座のご案内

**講演1**「原発事故をみつめ、ふくしまで生きること」

講師／医療生協わたり病院
内科医師　齋藤 紀先生

| 月日(曜日) | 時間帯・開催時間 | 会　場 |
|---|---|---|
| 7月16日（水曜日） | 午後2時15分～午後3時45分 | 吾妻学習センター本館 |
| 8月27日（水曜日） | 午後6時30分～午後8時 | 信夫学習センター |
| 9月24日（水曜日） | 午後6時30分～午後8時 | 松川学習センター |
| 10月15日（水曜日） | 午後2時15分～午後3時45分 | 福島市保健福祉センター |

**講演2**「福島でつくる生涯健康！～ライフステージから食と健康を考える～」

講師／医療生協わたり病院
管理栄養士　関場治美先生

日時／10月7日　火曜日
午前10時～午前11時30分

場所／市保健センター　4階
第一保健指導室

お申込み
福島市放射線健康管理室
TEL.024-525-7681

## ボランティアさん募集！

医療生協わたり病院や高齢者住宅ひだまりでボランティアさんを募集しています。

**◆外来FAXコーナー**
病院内のご案内や薬の処方箋のFAX送信、ぷらんたん薬局のご案内などお願いします。

**◆病棟ボランティア**
病棟行事のお手伝いや　患者様のお話し相手、外出などのお手伝いをお願いします。

**◆病院内での見守り**
通院や治療中の患者様の付き添い、小さいお子様をお連れの患者様のお手伝いをお願いします。

**◆高齢者ひだまりお茶会スタッフ**
毎週金曜日12時～14時半までお茶会をしています。お茶を入れたり、入居者の方のお話し相手をお願いします。

**◆食品の放射能測定**
野菜やくだもの、山菜など安心して食べられるようにベクレル測定をしています。結果をみなさんにお知らせしています。

**◆詳しくは**
福島医療生協本部（組織部）や支部の役員、医療生協機関紙の手配りさんまでお問い合わせください。
生協本部 TEL.522-1236

## INFORMATION

### 無料 法律相談会

●日　時
7月10日(木)13:30～15:30
8月 7 日(木)13:00～15:00
9月11日(木)13:30～15:30
●場　所／医療生協わたり病院内
事前申込制　TEL. 024-522-1236
●相談員／深谷 拓弁護士(あぶくま法律事務所)

### これからの行事

7・8月

**どうぞご参加ください**

**蓬莱健康まつり**
◆日時／7月13日(日)　9:40～
◆会場／蓬莱学習センター分館　大ホール

**2014年福島県民医連 ピースチャリンコ**
（自転車で走りながら平和や原発ゼロをアピールします）
◆日時／7月20日(日)
◆コース／桧原湖一周
※どなたでもご参加可能です。
※自転車は各自でご準備いただきます。
申込み・お問合せ：福島医療生協　組織部
TEL.024-522-1236
再稼働反対！NO 原発！

**わたり病院夏祭り**
◆日時／8月8日(金)17:30～
◆場所／わたり病院

## ★ふるさとの歴史探してみませんか★ 2

## 渡利地区（福島市渡利）

渡利支部　三浦 正雄

渡利地区でぜひ歩いて見ていただきたい所を紹介します。

最初は仏眼寺参道脇に建つ義民菅野作左衛の碑です。

今から約三百年の昔、山の内地域農民の惨状を見て福島藩主板倉公に伏拝で直訴、三十八才の若さで処刑された義民です。

山の内地区にはそのお墓と供養塔が建てられています。

次は春日神社の信夫渡碑で、「渡利」の地名はこの歌から、と伝えられています。

〝浅茅原荒れたる宿はむかし見し人を信夫の渡なりけり〟能因法師の歌です。

ここに、日清戦争から太平洋戦争までの戦没者、二百三十五人の名が刻まれています。

次は模擬原爆が投下された地点。岩崎郵便局の南西、沼ノ町です。その時の爆弾の破片が瑞龍寺に保管されています。

最後は小舟原にある「安保廃棄」の碑をぜひ見ていただきたい。



渡利に落下した爆弾の破片